

第 18 期中間事業報告書

(平成 25 年 7 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

平成 26 年 3 月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当中間期におけるわが国経済は、輸出関連企業を中心とした企業業績の改善や株高による資産効果の影響が徐々に浸透してきており、先行きの不透明感が幾分やわらいだ状況で推移してまいりました。

駐車場業界におきましては、都市部を中心としたマンション・戸建住宅建築増加の波を受け、一部の駐車場で解約の影響を受けることとなりましたが、慢性的な駐車場不足及び景気の回復基調を背景に、駐車場の利用は増加傾向にあります。

そのような状況の中、当社はコインパーキング事業(以下、CP)の更なる収益性向上とマンション事業の完遂に注力致しました。

CPシステム運営事業では、駐車場の新規開発及び駐車場の需給バランスを考慮した料金設定の最適化を継続的に実施し、駐車場の採算性の向上に努めてまいりました。その結果、売上高1,333,377千円(前年同期比102%)となりました。

CPシステム販売管理事業では、機器販売においては、運営会社の開発計画が増加傾向で継続していること及びコンサルティング営業の推進により、引き続き堅調に推移しております。またメンテナンス売上においては、保守サービスに磨きをかけ、新規契約の獲得に注力致しました。その結果、売上高1,422,864千円(前年同期比135%)と大幅に伸長致しました。

プロパティマネジメント事業は「満室経営」を目指し、物件の稼働率向上に注力した結果、売上高144,310千円(前年同期比101%)となりました。

分譲マンション事業は、消費税増税前の駆け込み需要を追い風に全社一丸となって販売に注力致しました。その結果、最後の1棟となった福井駅西口「エアース」も上半期末に完売、当社が取り組んだ分譲マンション3棟全て完売致しました。当中間期における売上高は、549,950千円(前年同期比161%)となりました。

その結果、当中間期における売上高は3,450,624千円(前年同期比121%)、となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年同期比
CPシステム運営事業	1,333,377 千円	102%
CPシステム販売管理事業	1,422,864 千円	135%
プロパティマネジメント事業	144,310 千円	101%
分譲マンション事業	549,950 千円	161%
その他	121 千円	107%